

申請者	学科名	デザイン工学科	職名	教授	氏名	森下 眞行 印
調査研究課題	瀬戸伝統染付絵のアーカイブ化とその利用に関する研究 I					
交付決定額	300,000円					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	森下 眞行	デザイン学部 デザイン工学科・教授	プロダクトデザイン	研究統括リーダー	
	分担者	磯村 康雄 長江 照彦 宮田 昌俊	瀬戸染付焼伝統工芸士 合資会社作栄製陶所 あいち産業科学技術総合センターせと窯業技術センター	伝統工芸士 代表取締役 研究技師	研究分担者 研究協力者 研究協力者	
調査研究実績の概要	<p>【研究概要】</p> <p>平成22年度より、本学地域貢献特別研究（代表：作元講師）により、伝統的工芸品産地（瀬戸）の活性化を目的に、今日のライフスタイルに適した商品デザインの開発を、産学官（伝統工芸士、商工会議所、大学）の連携により進めてきた。平成24年度までの3年間で、具体的な製品の試作を行いながら、新たなせともの商品の可能性を高めることが出来た。研究段階で伝統工芸士が伝承する見本帳の保存（アーカイブ化）が、伝統工芸技術の継承以上に必要と判断し昨年度よりアーカイブ化作業を開始したが、研究代表の特別休暇期間においても継続的な作業が必要なため、特別研究を代行する。</p> <p>（地域貢献への反映を踏まえて記述のこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究対象：瀬戸伝統染付絵のデジタル・アーカイブ化とその利用に関する研究</li> <li>・ 研究期間：平成25年4月1日～平成27年3月30日（2年間）</li> <li>・ 協力メンバー <ul style="list-style-type: none"> <li>磯村康雄氏（瀬戸染付伝統工芸士、康窯窯元）</li> <li>長江照彦氏（照山窯・合資会社作栄製陶所代表取締役）</li> <li>宮田 昌俊（あいち産業科学技術総合センターせと窯業技術センター）</li> </ul> </li> </ul>					

<p>調査研究実績の概要</p> <p>（地域貢献への反映を踏まえて記述のこと）</p>	<p><b>【研究実績】</b></p> <p>1) 染付原画のデジタルアーカイブ化  瀬戸染付焼伝統工芸士の磯村康雄氏の協力のもと、代々伝わってきたという和紙や布に描かれた原画を調査した。瀬戸染付けの伝統を継承していくために貴重な文化財であり、染付けの技術とともにデザイン画も後世に残しておく必要があると大学、産地共に確認し、資料を保存するための取り組みを平成24年度より継続的に行った。  内容：高解像度でのスキャニング、取り込んだデータのアウトライン化  期間：平成25年6月～平成26年3月</p> <p>■現地調査及び打ち合わせ等  平成25年4月13日 瀬戸市マルチメディア伝承工芸館（瀬戸染付研究所）にて、瀬戸染付絵の体験会参加（教員研究旅費）  平成25年6月29日 伝統工芸士磯村康雄陶房にて、染付絵原画借用（特別研究費）  平成25年10月13日 第5回「せと・あとりえ参道」調査（旅費不要）  平成26年2月9日 品野陶磁器センターにて、平成25年度地域貢献特別研究成果の今後の進め方と平成26年度地場産業振興ビジョン推進事業への参画について打合せ（特別研究費）  平成26年3月14日 瀬戸市より株式会社山善代表取締役社長柴田氏来学。今後の共同研究に向けて、学内施設の見学及び今後の研究に関する意見交換。</p> <p>2) 瀬戸伝統染付絵（デジタルデータ）の商品利用に関する研究  伝統染付絵のデジタルデータを利用して、レーザー焼付加工で平成24年度実施したiPhone用ケースのサンプルを増やす作業を継続的に実施した。また、染付絵（デジタルデータ）を利用した商品開発の事例調査を継続的に実施した。  内容：デジタルデータを利用した商品サンプル（iPhone用ケース）制作  期間：平成25年6月～平成26年3月</p> <p>■現地調査及び打ち合わせ等  平成25年8月12日 品野陶磁器工業協同組合にて、産学連携を前提とした商品開発に関する今後の方針及び外部資金獲得に向けてのスケジュールの確認（特別研究費）  平成25年9月14日 照山窯・合資会社作栄製陶所、瀬戸市瀬戸蔵ミュージアム、品野陶磁器センターにて、伝統染付絵を利用した商品開発に関する調査（特別研究費）  平成25年10月27日 磯村康雄陶房にて、染付絵を利用したiPhoneケース試作について、打合せ。名古屋商工会議所にて、産業観光フォーラム出席（特別研究費）  平成25年11月23日 鳥取たくみ工芸店にて、鳥取たくみ工芸展（因州・中井窯 作陶展）調査、ワイン用ボトルキャップをサンプル品として入手（産業界ニーズGP予算）  平成26年3月5日 瀬戸商工会議所にて、平成26年度特別研究の進め方について打合せ。愛知県陶磁器工業協同組合にて、ランデブープロジェクト説明会出席（特別研究費）  平成26年3月27日 台湾雲林科技大学美術館ギャラリーにて、書画を利用したiPhone/iPad用竹（木）ケースのサンプルを偶然発見し、今後の海外交流を通じた共同研究に発展する可能性大。</p> <p style="text-align: right;">（成果資料等があれば添付すること。）</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>1) 瀬戸染付絵のデジタルデータ資料（CD-ROM）  2) 瀬戸伝統染付絵（デジタルデータ）を利用したiPhone用ケースサンプル（画像）</p>